

設計モジュール化技法による

設計プロセス改革の考え方と具体的な進め方および成功事例

日時：2018年11月06日(火)10:30～16:30

会場：ドーンセンター 4F 大会議室3 (大阪・中央区)

聴講料：1名につき49,980円(税込、昼食、資料付)

会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**

・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

講師：(株)経営システム研究所 コンサルティング本部 エグゼクティブ・コンサルタント 野村 武史 氏

「働き方改革」の推進が叫ばれる中、従来、長時間残業の「聖域」であった設計・開発部門に対しても、抜本的な改革が迫られてきています。しかし、技術的なノウハウを持った人材を必要とする設計部門では、単純に派遣社員や新規採用の要員を追加しても、人件費の負担が増すだけで即戦力としての活用が難しい事は言うまでもありません。その為、経験年数が少ない要員でも戦力化する様な業務のしくみが必要となってきます。さらに、日本では企業の発展期を支えてきたベテラン技術者の定年退職が進行し、業務現場で明文化していないノウハウが緩やかに消失しており、業務品質の低下、手戻りの増加等が増大している企業も散見されます。このような状況の中、個別受注・都度設計を行う製造業では、設計のモジュール化技法を問題解決の一手段として、改革活動に取り組む企業が増えてきています。顧客要求により受注後に新規図面の発生がある個別受注型組立業では、いかにカスタム設計の効率化を図れるかが、企業の生産能力・売上規模を左右すると言っても過言ではありません。この為、多くの企業では長年、設計の標準化・ユニット化を推進していますが、成功している企業が少ないのが実態です。では、なぜ上手くいかないのでしょうか？それは、カスタム設計の効率化を設計部門だけの課題として考え、取り組んでいるからです。本セミナーでは、設計を核にして全社に展開する業務改革技法である設計モジュール化技法について、基本的な考え方・具体的な取り組み方・推進方法、さらにITツールの紹介をいたします。実際にモジュール化技法のコンサルティングを実施している業務改善コンサルタントの豊富な経験を基に、事例を交えて分かりやすく講義いたします。ぜひ、この機会に、カスタム設計業務の抜本的な改革を考えている方々の参加をお勧めいたします。

1. 個別受注事後設計型 製造業の現状

- 1-1. 個別受注・事後設計型企業で発生している問題
- 1-2. マス・カスタマイゼーション
- 1-3. SCMとECM
- 1-4. エンジニアリングのV字カーブ
- 1-5. 川は上流から澄む

2. モジュール化技法とは

- 2-1. モジュール化による多様化対応
- 2-2. モジュール化のコンセプト
- 2-3. 「設計のモジュール化」と「生産のモジュール化」
- 2-4. 設計思想と標準化

3. モジュール化技法の進め方

- 3-1. モジュールの設定
- 3-2. 機能バリエーションの整備
- 3-3. マトリクス部品表の整備
- 3-4. 製品仕様の標準化
- 3-5. 仕様と機能の結合

4. モジュール化技法の導入後の新しい業務の姿

- 4-1. 設計部門を中心とした新しい業務イメージ
 - 4-2. ビジネス・モデル変革のイメージ
 - 4-3. 設計の組織体制
- #### 5. モジュール化技法の推進活動体制
- 5-1. プロジェクト体制
 - 5-2. 全体推進計画
- #### 6. 新しい業務を支援するITシステムの構築
- モジュール化に対応したシステムの基本形
- 6-1. システム・業務プロセス全体図
 - 6-2. 基本情報からの製品別BOMの作成イメージ
 - 6-3. 各種画面イメージ
- #### 7. モジュール化技法の事例
- 7-1. モジュール化の標準的な効果
 - 7-2. 各社事例

【質疑応答・名刺交換】

『設計モジュール化技法』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料)	案内方法を選択してください。複数選択可。		Eメール 郵送

セミナーの受講申込みについて
必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>